

2月議会報告

2月19日から開会された定例市議会は、2019年度最終補正予算、2020年度予算、条例など、提案された議案はすべて可決され、3月19日に閉会しました。コロナウイルスの市職員への感染があったことから、24日を最終日としていましたが、前倒しとなりました。

日本共産党市議団の議案に対する態度

2019年度補正予算と議案
提案された39議案のうち、19議案に賛成、13議案には反対しました。

は当初55基を執行する予定で、総合防災課が予算を組んでいますが、下水管部分を担当する企業局は30基しか計上しなかったため、25基分に当たる204万7千円を減額。原因は担当課同士の調整不足とのことですが、このよ

★ 最終補正予算における問題点 災害時対策のマンホールトイレ

うな初步的な調整不足はあってはならないと指摘しました。また、人権教育費として子ども会支援交付金が毎年3500万円計上されていますが、今回は架空の領収書を使って不正に交付金を得たことから、子ども会の人数の水増しが発覚し650万円(平井400万円、鳴神150万円、休止中100万円)減額されています。



新型コロナウイルスでどこも大変な状況だと推察されます。当初、手洗いの励行と飛沫感染の防止を徹底すれば、何とかしのげるのではないかと思われた状況が日に日に深刻さを増し、ついにWHOがパンデミックを宣言。和歌山市の感染者は今のところ17人で変化していませんが、今後どうなるかは予測不可能です。人混みを避け、規則正しい生活を送る、過剰に怖がらないという原則を守って毎日をお過ごしください。

なお、日常生活でお困りのこと、気になることがあれば、お気軽にご相談ください。市役所の窓口のご案内も併せて掲載しますので参考にしてください。

新型コロナウイルス電話相談窓口

電話：073-488-5112

ファクス：073-431-9980

時間：午前9時～午後5時45分(平日)

帰国者・接触者相談センター

電話：090-9870-5112

時間：午前9時～午後5時45分(平日)

※時間外・休日も対応

融資相談窓口(産業交流局・商工振興課)

電話：073-435-1233

ファクス：073-435-1256

★ 2020年度予算の問題点

2020年度予算と議案
提案された47件はすべて可決されました。日本共産党市議団は、問題点のある16件には反対、3件には賛成しました。

2020年度予算の問題点
東京23区在住の人が和歌山市の企業に就職したり自ら起業した場合、100万円を支給するという補助金は、東京一極集中を緩和

(裏面に続く)

日本共産党

どうなる どうする

新型コロナ対策

いのちを守る医療体制に

PCR検査 医療用マスク 保健所 待機児童

こんなときに公的機関 424カ所の貸渡先?

子どもたちのケアを

(表面より)
させようという国の施策ですが、2019年に計上されたにもかかわらず利用者が一人もいなかったというだけで、全額減額されました。2020年に改めて計上されましたが、この事業を進めようという積極性に欠けると言わざるを得ません。

国が全額補助金として2億1867万円を出し、マイナンバー普及を進めようとしています。昨年の8065万円と比較しても3倍近い金額で、2023年には全国民への普及を目指すとして国民健康保険利用にもつなげるということです。様々な分野へ紐づけ

し、利用すること自体プライバシー権の侵害であり重大な問題です。
放課後健全育成事業(若竹学級)は新年度で162名の待機児童が出る見込みだとのこと。2020年度予算で4学級分を増やす予算は増

花山水系の漏水に関する 特別委員会報告

2月議会が始まり、補正予算の審議に先立ち、1月19日から予定されていた、漏水工事に伴う断水問題について特別委員会が設置されました。私、森下さち子と井本ゆうい

額されていましたが、働く保護者の実態からみても、不十分であり希望者が入れません。早急に対策を取るよう求めました。
(森下さち子の一般質問については5月号にて)

ち議員とが特別委員となり2月21日の委員会に臨みまし

☆無料法律相談☆

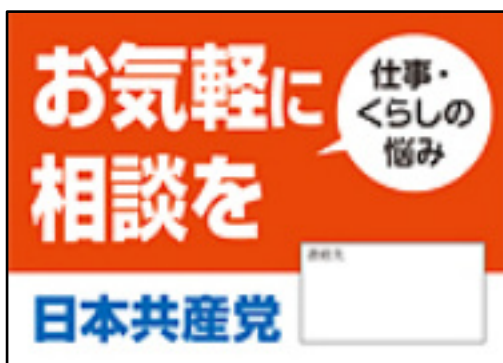
井辺・森下さち子事務所にて

4月15日(水)
18:00~

4月27日(月)
13:30~

◆事前予約をお願いします。

市役所議員団控室
森下さち子まで
☎ 435-1113



た。
特別委員会で出された意見
「断水して工事するとの決定が急すぎたことから、もつ

カジノストップ アピール行動 4月11日(土) 10:00~ 公園前にて



と早く情報開示をするべきであった」「断水に備えるため、予告時間間近に集中して濁り水が発生したが工夫次第で回避できたのではないか」「断水せずに工事できる可能性についても周知する必要があるのではないか」「視覚障害者への対応など広報が不十分だった」などの意見が出されました。

市内の上水道に関する配水管や給水管は老朽化しているものも多くあり、更新していく必要があります。そのためには多額の費用がかかりますが、水は市民の命を支えるものであることから、市民負担

にならないように計画的に進めなければなりません。老朽化は和歌山市だけの問題ではなく全国的な課題でもあり、国の財源保障が不可欠であり、市長に国へ申し入れるよう求めました。

